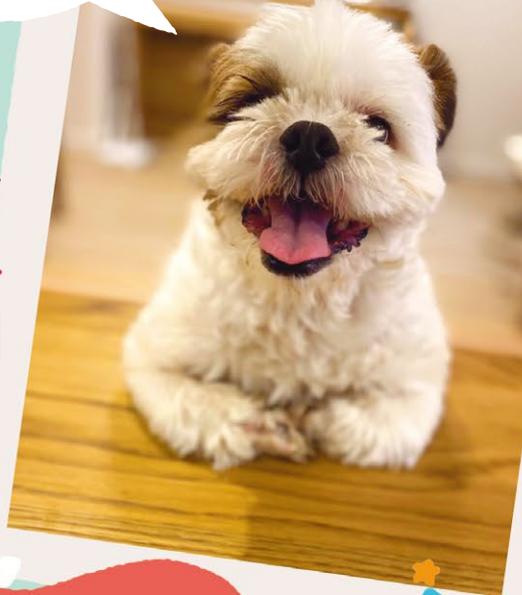


ご自由にお取りください

One Welfare
人も一緒に幸せになろう

WELCOME PET CAMPAIGN



WELCOME PET CAMPAIGN Partner

共立製薬

ユニ・チャームペット

DEARPET
ペットメモリアル専門店

JAVIA
公益社団法人 日本動物病院協会

One Welfare | ワン ウェルフェア

～人も一緒に幸せになろう～

- 3 | ワンウェルフェアでみんな幸せになろう
一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル代表理事 滝川クリステル
- 5 | 人と動物の共生を改めて考える「ワンウェルフェア」とは
英国王立動物虐待防止協会国際部部长 ポール・リトルフェアーさん
日本獣医生命科学大学准教授 田中亜紀先生
- 9 | ユニ・チャーム ペット Presents
《飼い主のいない犬猫の医療を支える保護犬猫支援基金》
- 11 | 幸せになった元保護犬、元保護猫たち
元保護犬との暮らし／表紙犬猫コンテスト
- 15 | 共立製薬 Presents
《マイクロチップ基本の「き」》
- 17 | 犬となかよくなる
監修：公益社団法人日本動物病院協会理事 吉田尚子先生
- 19 | DEARPET Presents
《ペットに愛情を伝える供養》
- 21 | クリステル財団の活動紹介
Project SOS／Project Zero／支援するために

WELCOME PET CAMPAIGN
第6版発行 2023年3月30日

発行：一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル
協力：公益社団法人日本動物病院協会
編集：マツハラプロジェクト
デザイン：daicon.inc



WELCOME PET CAMPAIGN

Christel Vie Ensemble Foundation

日本では年間に14,457頭の犬猫が殺処分されています。治癒の見込みがない病気や攻撃性があるため譲渡することが適切ではないと自治体が判断し殺処分を行なったのが6,725頭(分類①)。引き取る人が見つからずセンターや保健所で保管することが困難になり殺処分されたのが4,180頭(分類②)。自治体が引き取った後に病気や事故、老衰などで亡くなってしまったのが3,552頭(分類③)います。

私たちは、譲渡先が確保できれば殺処分されずに済んだ分類②の犬:358頭、猫:3,822頭を引き取って、家族として暮らしてくださる方を増やしたいとWELCOME PET CAMPAIGNを2015年に始めました。新しい飼い主さんを待っている保護犬・保護猫が全国にたくさんいること、「引き取って飼う」選択肢があることをより多くの方に知っていただくことが、殺処分される犬猫の頭数低減に繋がると考えています。

日々、多くのメディアで保護犬や保護猫、殺処分について報じられるようになって尚、未だに多くの譲渡適性がある犬猫が殺処分されていることから、今後も保護犬猫について正確な情報を広め、譲渡を更に促進するための活動を継続して参ります。

この冊子を手にとった方で、もう既に保護犬、保護猫についてよく知っている方は、まだご存知ない方にも広めていただければ幸いです。

犬・猫の引取り及び処分の状況 (対象期間:2021年4月1日～2022年3月31日) 環境省

	引取り数			処分数						
	飼い主から	所有者不明	合計	返還数	譲渡数	殺処分数			殺処分数のうち 幼齢個体	
						①	②	③		合計
犬	2,864	21,238	24,102	8,402	13,116	1,891	358	490	2,739	540
猫	9,602	25,203	34,805	224	22,888	4,834	3,822	3,062	11,718	7,407
合計	12,466	46,441	58,907	8,626	36,004	6,725	4,180	3,552	14,457	7,947

※「殺処分数」の分類

- ① 譲渡することが適切ではない (治癒の見込みがない病気や攻撃性がある等)
- ② 譲渡先の確保や適切な飼養管理が困難
- ③ 引取り後の死亡

ワンウェルフェアでみんな幸せになろう

一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンプル代表理事 滝川クリステル

今回の冊子はOne Welfare (ワンウェルフェア)がテーマです。人の幸福(Well-Being)とアニマルウェルフェア、そして環境は繋がっていて、どれか1つが欠けてしまうと「より良く生きる」ことが出来ないという考え方です。この話を聞いた時に、財団での取り組みがOne Welfareそのものだったことに驚かされました。アニマルウェルフェアについては、まさにアニマルウェルフェア向上と犬猫の殺処分問題の根本解決を目指すProject Zero、環境については生態系の頂点にいる絶滅の危機に瀕した野生動物を救うことで生態系の保全に取り組む

Project Red、そして2021年から取り組みを始め、暴力・虐待問題について動物に限らず子どもや女性をテーマに活動したいと考えているProject SOSが3つの領域と同じだったのです。まだまだ日本では知られていないOne Welfareについて、RSPCAのポール・リトルフェアさんと、日本獣医生命科学大学の田中亜紀先生に詳しくお話を伺いました。是非お二人の専門家からのメッセージをきっかけに動物たちの幸せ、アニマルウェルフェアの向上を願う皆さまには、更にその上位概念であるOne Welfareについて考えていただければと思います。

一方でアニマルウェルフェアが著しく低下した虐待動物の保護については、現行の法律や行政では対処しきれないという現実があります。特に飼い主の所有権が「壁」となり行政による迅速な保護が難しく、また捜査後には飼い主が権利を放棄することに同意しない限りは飼い主の元に戻さなくてはならないことが問題になっています。動物虐待は、人への暴力・虐待などに連鎖すると言われます。この虐待・暴力の連鎖を抑止するため、動物虐待防止のための啓発活動に取り組んでいるAnimal SOSプロジェクトを更に前に進めます。

2022年、私たちは子どもに犬をより身近に感じてもらうための新たな取り組み「どくしょ犬って知ってる？」を始めました。読書犬プログラムは1999年にアメリカから始まり、日本でも2016年から公益社団法人日本動物病院協会さんが実践しておられます。私も母親になり日々子どもと向き合う中で、「本を読むこと」がいかに大切なのか、そして側に犬がいてくれることの意味を改めて強く感じるようになりました。将来的には多くの元保護犬が読書犬として活躍する世界を目指します。子どもたちが今後も豊かな環境の中で暮らしていくには何をすべきなのか、私たち大人の責任についてこれまで以上に考え、様々な形でチャレンジを続けて参ります。

Photo by Takeshi Hanzawa



人と動物の共生を改めて考える 「ワンウェルフェア」とは



英国王立動物虐待防止協会(RSPCA)
ポール・リトルフェアー国際部部长

近年話題になっている新たな概念「ワンウェルフェア (One Welfare)」について正しく理解し実践することは、私たちとペットや保護動物との暮らしを豊かにすることはもちろん、動物虐待のない世界を実現するためにも、この社会を持続可能にするためにも不可欠だと考えます。人間と動物、それを取り巻く環境が共存・共生する社会を実現するために、日英の専門家に詳しくお話を伺いました。

イギリスにおけるアニマルウェルフェアは、畜産動物から始まり、EUという枠組みのなかで、マーケットが牽引する形で浸透し、それにつれて人々の意識も高まりました。EU各国で調査をすると、多くの消費者がたとえ価格が多少高くても、アニマルウェルフェアが担保された製品を選ぶと回答しています。人々の意識の高まり、供給側の変化がうまく絡み合うことで浸透してきています。

日本の皆さんは、特に食についてはかねてより国産の製品に対して高い意識を持っていると感じています。そのような背景から、アニマルウェルフェアという概念を受け入れ易いので

はないかと考えています。消費者が声を上げることも非常に重要です。レストランやスーパーで、このお肉や卵はどこから来たのか、どういった育てられ方をしたのか、など聞いてみてください。そうすることで、流通や生産者側の変化にも繋がります。

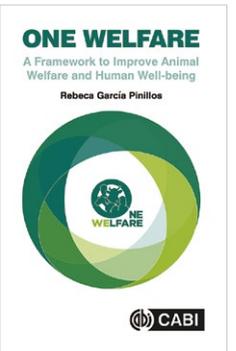
言うまでもなく、人のウェルフェアは密接に関係しています。例えば、アニマルウェルフェアが考慮されていない、ヘルシーでない動物を食することは人のウェルビーイングにも影響があります。また、健全な自然環境を守ることは動物を含めた生物多様性を保全することに繋がります。

ワンウェルフェアという考えは、今後もっとも重要なものになってくるでしょう。この概念を理解し、それに基づいて活動していただければ、今後国内外の多くの団体、世界的な団体とも共通の言語でやり取りできる、強みとなるでしょう。プロジェクト財団の3つのプロジェクト (Project Zero・Project Red・Project SOS) はワンウェルフェアと構造や考え方が似ていて非常に興味深いです。今後もネットワークを大切にしつつ、多くの人々にメッセージを伝え続けてください。

また、ワンウェルフェアという考えは、今後もっとも重要なものになってくるでしょう。この概念を理解し、それに基づいて活動していただければ、今後国内外の多くの団体、世界的な団体とも共通の言語でやり取りできる、強みとなるでしょう。プロジェクト財団の3つのプロジェクト (Project Zero・Project Red・Project SOS) はワンウェルフェアと構造や考え方が似ていて非常に興味深いです。今後もネットワークを大切にしつつ、多くの人々にメッセージを伝え続けてください。



ポールさんからお勧めいただいた書籍からワンウェルフェアの定義をご紹介します。



Pinillos, Rebeca García, *One Welfare: A Framework to Improve Animal Welfare and Human Well-Being*. Wallingford, Oxfordshire, UK: C.A.B. International, 2018

- 地球上における生命体の、持続可能で進歩的な共存に関するもの。
- アニマルウェルフェア、人間のウェルビーイング、そして物理的・社会的環境との相互関係を説明するもの。
- そのコンセプトは、アニマルウェルフェア、人間のウェルビーイング、そして環境の3つを統合させることで、世界のウェルフェア向上や開発による利益享受を目的とした共同アプローチ。
- 動物病院や動物福祉団体で働く人々が、動物にフォーカスした彼らの仕事と、より広い社会との相互関係を理解・認識するのに役立ちます。実際、多くが各々のキャリアにおいて、ワンウェルフェアであると認識せずとも、すでにこのような活動をしていたかもしれません。同様に、このコンセプトは、医療従事者、看護師、社会福祉士など、人の福祉に関する専門家が、動物や環境を含む自然と彼らの仕事との相互関係を理解し、また、それらの分野の専門家と共に取り組むことにより、様々な方法での人間のウェルビーイングのサポートにも繋がることを理解することにも役立ちます。さらに、アニマルウェルフェアの意味を広く理解していない個人や社会が、動物をよりケアすることがもたらす影響や、それに関連するさまざまな社会的分野を十分に理解することにも役立ちます。
- また、アニマルウェルフェア向上の背景にある教育的側面を強化することを目的としています。(いずれも編集部訳)

人と動物の共生を改めて考える ワンウエルフェアとは



日本獣医生命科学大学
准教授 田中亜紀先生

この考え方は昔から私たちが当たり前に兼ね備えていたものです。ただ2019年に獣医師の集まりでアニマルウエルフェアと人間のウエルビーイング、そして環境保全などの社会問題は全て繋がっているという概念、ワンウエルフェアが提唱されました。それ以前からワンヘルスという言葉はありましたが、それもワンウエルフェアの中にある概念です。ワンヘルスは健康に着目した概念ですが、ワンウエルフェアは環境保全や生物多様性のような社会問題も含みます。全体を1つの福祉と考えようという概念です。

例えば貧困は社会問題の1つですが、それはアニマルウエルフェアにも人のウエルビーイングにも大きく関与しま

す。貧困を解決しないと社会は持続可能にはなり得ませんから、そこにも着目して一緒に解決しようと考えるのがワンウエルフェアの目指すところですよ。

また産業動物の福祉を担保することにより、産業自体を持続可能にしていこうという取り組みもわかりやすい一例でしょう。いずれは食べられてしまう動物であっても狭いところに押し込められるのではなく、アニマルウエルフェアが担保された環境で育てようとする取り組みを消費者に見せることで、残酷で動物に可哀想なことをする産業という印象は変わりつつあるのではないのでしょうか。それが持続可能な産業のあり方でしょう。

そうなるという現行の法律や運用では難しいとされている動物の「緊急一時保護」が不可欠になるでしょう。ここを突破するには民意で社会を変え、法律を整備していく必要があります。

ペット産業にも同じことが言えると考えています。劣悪なブリーダーやペットショップが問題視されますが、産業全体では正し健全化することによって、日本のペット産業は衰退せずに発展できると考えています。元気に愛情を貰って育てられている犬から生まれた子犬は健康で良い犬でしょう。保護活動にも同じことが言えます。1頭でも多くの命を救うためならアニマルウエルフェアは二の次と考えるのではなく、目の前の動物がいかに生きるのか、まさにウエルフェア（より良く生きる）を重視する活動をしなないと持続可能ではありません。また、犬や猫を幸せにするには、関わる人も同じく幸せでなければいけません。つまりワンウエルフェアとは人と動物が共に生きるという原点に立ち返り、みんなで力を合わせて動物も人も環境も良くしていきたいと思いますよということですよ。

また、虐待されている動物の存在はワンウエルフェアの観点からも大問題です。身の回りに虐待された動物がいる社会で、人間だけが幸せに生きるなんて不可能です。人が動物を虐待する社会は変えなくてはなりませんし、それを放置する社会は尚更もっと悪い。

全てに共通するのは、私たちが変わり、社会通念を変えていくことが求められるということですよ。まずは現実を知って意識を変える、そうなるという動物を過度に利用したり虐待している会社や団体とは取引したくありませんよね。結果、売れないことで商いや活動をやめるしか無くなっていきました。過渡期にある中で良い方向へ変えようと頑張っている人たちもいますから、ワンウエルフェアという観点で適切に判断して、賢い消費者になりましょう。



保護犬猫 支援基金

ユニ・チャーム ペット Presents

飼い主のいない犬猫の医療を支える



左から湯澤美恵さん、徳間壽美子さん、横山篤司先生

Photo by Kazuna Iida

犬猫の保護活動を行う中で、支出の多くを占めるのが医療費です。ボランティアさんの負担軽減と保護された犬猫のアニマルウェルフェア向上のために、保護犬猫支援基金は医療費の一部(1頭につき5,000円)を支援しています。今回は長年保護活動をしておられるボランティアさん、協力動物病院の獣医師さんにお集まりいただき、活動の原点や今後期待する支援についてお話を伺いました。



保護犬を預かるボランティア 徳間壽美子さん

(NPO法人チャイルド&アニマルチャリティー協会(CACA)理事)

現在は自宅の一部と保護犬のための一軒家、動物病院に入院中の犬も含めると14頭の保護犬を預かっています。保護活動に理解を示してくださる動物病院は少なく、飼い主のいない犬猫のために力を貸してくださるさくら動物病院さんには本当に感謝をしています。

私たちがように現場で動く人間だけでは保護活動は回りません。医療を提供くださる動物病院さん、そして活動資金を出してくださる方が不可欠です。最優先で必要になるのが医療費です。保護犬猫支援基金がユニ・チャームペットさんをはじめとする企業の皆さん、動物病院さんと一緒になって支えてくださるのは本当に素晴らしい仕組みだと思います。この基金が大きくなれば、安心して活動ができるボランティアさんが増えるのではないのでしょうか。

徳間さんが保護した犬のマロンちゃん



Before

After

保護した時には重症なフィラリア症を持っており心臓の治療などにも医療費が掛かるため譲渡はせず、徳間さんが最期を看取りました。「保護され適切な医療処置を行うと体つき、毛艶、表情も変わってくる。この変化を見るのが嬉しい」と徳間さん。

保護猫を預かるボランティア 湯澤美恵さん

(NPO法人チャイルド&アニマルチャリティー協会(CACA)理事)

私は22年前、自宅の周りで拾った子猫を譲渡することから始めました。これを持続している問題も解決しないと考へ、外にいる猫の不妊去勢手術に協力して欲しいと地域にある全ての動物病院に順番に連絡して唯一協力して下さったのが横山先生でした。それ以来の長い付き合いです。私たちの団体では基本的に猫は保護せずTNRするのが原則です。そうしないとキリが

なくなり、適切なお世話ができなくなり何のための愛護活動なのか分からなくなってしまうからです。

保護犬猫支援基金は治療でも、不妊去勢手術でも、内容を問わず助成いただけているので本当に助かっています。また現場で活動する私たちにとっては面倒な手続きや書類も必要なく使い易いので、さらに多くの犬猫のために基金が大きくなることを願っております。

医療ケアを担う協力動物病院 さくら動物病院 院長 横山篤司先生

さくら動物病院 院長 横山篤司先生

私も以前、保健所で勤務していた経験があるので良くわかりますが、職員たちも処分したくはないのです。そんな状況下で私ができることは？と考へ、動物病院を開院しました。自分一人の力では難しくても周りを巻き込みながら、ちゃんと犬猫を飼ってくれる環境を作りたいと動物に向き合う中で、湯澤さん、その後に徳間さんのように活動してくださる方が現れてくださいました。ただ活動くださる皆

さんの金銭的な負担が大きいのではなか出来なかなと考へていた中で、ユニ・チャームペットさんのような企業が加わってくださったので、より動物愛護活動が広がっていくことを期待しています。開院して20年以上経ち、この地域の皆さんの動物を愛する気持ちが大きく変わりました。保護した犬猫を適正にケアし、良い譲渡先にお渡しすることで幸せが広がっている。大変やり甲斐のある活動だと思います。



基金への寄付を続ける企業



ユニ・チャーム ペット 担当者からのメッセージ

私たちは「人とペットの共生社会を実現する」という共通の理念を持つクリステル財団の活動支援として、2019年よりペットにありがとキャンペーンや支援金を通じ保護犬・保護猫支援活動を行っております。保護犬・保護猫たちに、どんなときも、いつでもそばにいてくれるご家族が見つかり、名前を呼んで笑いかけてくれる人がたくさんいる未来が訪れることを願っております。

さくら動物病院が医療ケアをして幸せになった猫たち



保護犬猫支援基金が医療費支援を開始した2021年7月から2022年12月の間に**867頭**の保護犬・保護猫の医療費補助を行ないました。

★保護犬猫支援基金の詳細については23ページをお読みください。

元保護犬との暮らし 1人と1頭の幸せな毎日



東京都内で一人暮らしをして
いる会社員の中川さんは、親元
を離れてからは犬と一緒に暮ら
した経験はありませんでした。
コロナ禍で学生時代からの友人
が保護猫を迎えたと聞き、自分
でも1頭だけなら幸せにできる
のではないかと考えるように。
気になった保護犬がいると保護
団体へ問い合わせますが、一人
暮らしを理由に譲渡を断られ

自分には犬を飼う資格が無いの
かなと自信を失ってしまします。



小学生の頃、中川さんが拾った
子犬(ラッキーちゃん)は、15歳
まで元気に生きました。

それでもラッキーに似た保護
犬が気になり問い合わせたところ
『他にもいろんな犬がいるので
会いにきませんか』とフォス
ターサロン・ジャパンから返信
をもらい、保護犬たちがいるト
リミングサロンW.A.N.B.O.西
日暮里店へ。仕事や住環境につ
いて丁寧に聞かれた後、勧めら
れたのが1頭の痩せたトイ・プ
ードルでした。レスキュー直後だっ
たこともあり全く人馴れしてい
ないけれど、おとぼけ顔が可愛
いと感じた中川さん。そもそも犬
種にこだわらなくても、たくさん
犬を見ている保護団体のオスス
メであれば譲渡を申し込みます。



繁殖場からレスキューされ
た直後。7歳で既に白内障
になった目も痛々しい。

自分に合う犬をマッチングし
てくれる上に、なんでも相談で
きる保護団体から譲り受ける
のは初心者にはピッタリ。

医療ケアが済んだ後、2週間
のトライアルが始まりました。
室内で小型犬と過ごすのは初めて

でドキドキでしたが、初日から
すっかりフードを食べてくれ一
安心。でも慣れない環境で心細
いのが夜になるとクンクン鳴き、
ケージに入れると嫌がります。
また、アトピーやアレルギーを
持っているので前肢を舐めている
のを見ると、うちに来たこと
でストレスを感じていたらと心配
になり、保護団体の方に様子を
都度報告、相談してアドバイス
をもらいました。



トライアルが始まった当初は
座り込んでしまい、お散歩も
できなかったオコメちゃん。

お留守番の時間もありましたが
見守りカメラで確認すると家の中
で落ち着いている様子。自分の生
活には成犬の、この子が合ってい
るんだと感じました。お散歩やト
イレもどんどん上手くできるよう
に変わっていく姿を見ることで、
トライアル期間が終わる頃には飼
い主として自信が持てるように。
保護団体の方も正式譲渡を喜んで
くれました。

オコメは成犬だけど初めて
のことがいっぱい。それを一
緒に体験できる喜びや新し
い発見はまだあります。

名前の由来は、私が白米
のご飯が好きだからです。
呼びやすいし、オコメも食
べることが好きなので気
に入っています。休日も一
緒に過ごすために、友人た
ちを家に招くことが増えま
した。そんな時は、みんな
に挨拶して回るくらい人間
も大好きなオコメは、理想
のパートナーですね。
一人暮らしなので、私か
ら話しかけることが多いか
らか、言葉を結構覚えてく
れました。「お散歩」と「ご
飯」の他に、「おやすみ」と
言うて自分からベッドに
入っていきまます。コミュニ
ケーションが取れていると
思うと嬉しいですね。

私のそばでリラックスしている姿を見ると、ようやくオコメにも安らげる家ができたと嬉しくなります。

「お散歩に行く?」と声をかけると喜んでその場で回るほど、
今ではお散歩が大好きに。



交通量の多い都会で犬
を散歩に連れて行くこと
は不安だったので保護団
体から紹介されたドッグ
トレーナーに相談し、マ
テやオイデの練習をする
中で意思疎通ができるよ
うに。ちゃんと自分も犬
と向き合っているんだと
更に嬉しく自信が持てる
ようになりました。

保護団体のスタッフさ
ん、トレーナーさん、友人、
いろんな人の力を借りて、
オコメと幸せに暮らせて
います。SNSにオコ
メを載せると今でも保護
団体の方がリアクション
をくれて、譲渡後もオコ
メの飼い主としての私の
成長を見守ってくれてい
るようで心強いです。

オコメは繁殖場からレス
キューされた引退犬なので健康
体とは言えません。状態が酷かつ
た耳も皮膚もかなり良くなりま
す。以前は歩くことも爪を切っ
て貰うことも無かったようで、
血管が伸びてしまっているんで
す。何も世話をして貰っていな
かったと考えると切ないです
ね...。持病があったのでベッ
ト保険にも入れず、医療費は結
構かかりますが、自分が頑張っ
て仕事しなきゃなと思います。

最近はお散歩中に走るが増
えたので、もっと自由に走り回
りたいだろうとドッグランへ連れて
行くのですが、遊び方が分からず
常に私についてきます。いつか
ドッグランも楽しんでくれるよ
うに欲しています。



一緒にいられる時間を少しでも長く、
過去に辛い思いをした分まで幸せにしてあげたい。

中川さんとオコメちゃん
のマッチングをしてくれ
たフォスターサロン・ジャ
パンは首都圏を中心に全
国に14軒のトリミングサ
ロンで保護犬・保護猫を
預かっています。譲渡条
件など詳細はお問い合わせ
ください。



<https://www.fostersalon.jp/>

表紙犬猫コンテスト

表紙に選ばれた犬猫たち

2022年11月24日〜12月15日までクリスタル財団のInstagramにて開催した「WELCOME PET CAMPAIGN 表紙犬猫コンテスト」に応募された写真から、厳正な審査を行い4組の元保護犬、元保護猫を選ばせていただきました。

なつくん&ゆずちゃん

@yuzu_natsu_love



お留守番があるので成猫を1頭引き取るつもりだった飼い主さんですが、とっても仲の良い兄妹(推定2歳)を引き離すことが出来ず、2頭引き取ることに。眠るのも遊ぶのもオヤツを食べるのもいつも一緒です。

歌乃ちゃん、ガブリエルくん

@ushiotakizawa

パピーミル崩壊から保護された柴犬の歌乃ちゃん(左)は、警戒心が強いけれど人間が好き。ペットショップから廃棄された柴犬×ビーグルのガブリエルくん(右)は、陽気でよくはしゃぐ甘えん坊な性格です。



大吉くん

@sippojikan

保護活動をしている飼い主さんが、ひどい状況で虐待されていた1頭の犬と出会いました。病気を持っており難しいケアが必要だったため、知識と経験があった飼い主さんが預かり、その後家族に迎え入れられました。



Mecaちゃん

@utatane0824

ガラスに覆われていた猫を友人から引き取ったら猫白血病陽性でした。片目は塞がっていましたが不自由なく暮らしていたところリンパ腫が発症。抗がん剤治療を2年近く頑張った後、虹の橋を渡りました。



ユニ・チャーム ペット様賞

さくよちゃん

@sakuyolove0525



お外が大好きで、元気にボール遊びしている様子が見ているみんなを明るくしてくれます。口を開けて満足そうに舌を出した表情が可愛すぎます〜。

共立製薬様賞

ハリーくん

@harry_20211125

ハリーちゃんの上目遣いがとっても可愛くて今回選ばせていただきました!その視線からにじみでている飼い主さんへの信頼感...。これからもぜひ健やかでハッピーな毎日をすごしていただきたいです!



DEARPET 様賞

デージーちゃん

@golddog1230

動物たちの生きる力の強さと深い愛を感じる素敵な投稿に心を打たれます。デージーさんのまっすぐな瞳は吸い込まれそうなくらい美しいですね。「猫のためなら頑張れる自分」というお言葉にも、深く頷いてしまいました!



パートナー賞に選ばれた犬猫たち

幸せになった元保護犬・元保護猫たち

Q どんな手続きがいるの？

A マイクロチップを装着すると「マイクロチップ装着証明書」が発行されるので、その日から30日以内に環境省に情報を登録しましょう。パソコンやスマートフォンからオンライン申請ができるほか、郵送でも可能です。住所や電話番号が変わったり、犬猫が亡くなったりした場合も手続きが必要です。

環境省

- 犬と猫のマイクロチップ情報登録 <https://reg.mc.env.go.jp/owner>
- お問い合わせ窓口 ☎ 03-6384-5320 ✉ info@mc.env.go.jp

Q 装着や登録の費用は？

A 動物病院で装着する場合、数千円〜1万円ほどの費用がかかります。マイクロチップの普及啓発のため、獣医師が無料装着を実施するイベントもあります。環境省への情報登録の際にオンライン申請は300円、郵送での申請は1000円かかります。

Q 登録した情報の読み取り方は？

A 犬猫に専用のリーダー（読取機）をかざしてID番号を読み取り、環境省のデータベースに番号を照会することで情報を確認できます。現在のマイクロチップは規格が統一されているので、1つのリーダーで読み取り可能です。個人情報保護のため、情報を照会できるのは公務に携わる関係者や獣医師などに限られます。



リーダーは全国の保健所をはじめ、動物病院やペットショップに置かれている

Q レントゲンやCT、MRIに影響は？

A レントゲンやCTを撮るとマイクロチップが写るので、可能性は低いもののそこがピンポイントで患部だった場合は見づらいかもありません。また、微弱な磁気を発しているのでMRIの出力によっては画像が多少揺らぐことがあります。獣医師の判断で一旦取り出す処置を行うことも考えられます。

Q どんなときに役立つの？

A 犬猫が脱走や災害で迷子になったり盗難に遭ったりしたときに、身元の照会ができれば飼い主さんと再会できる可能性が高まります。「首輪に鑑札や迷子札をつけておけば大丈夫」と思うかもしれませんが、東日本大震災では放浪中に痩せたり津波に巻き込まれたりして首輪がはずれたケースがありました。



お話を伺ったのは、
須藤 雄一郎さん
 (共立製薬株式会社ペット事業推進部)
西川 智也さん
 (共立製薬株式会社ペット事業推進部、獣医師)

共立製薬の目標は、家族の一員である動物の命や健康を守り、人と動物が幸せに暮らせる社会。予防・治療・日常ケアに関わる幅広い製品の提供や動物医療の向上に努めています。

<https://www.kyoritsuuseiyaku.co.jp>

迷子・災害・トラブルのときに役立つってホント？

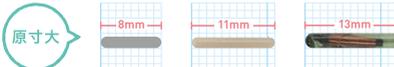
マイクロチップ 基本の『き』



2022年6月から販売される犬猫へのマイクロチップの装着が義務となりました。すでに飼われている犬猫への装着は飼い主さんの努力義務の段階です。とはいえ「愛犬・愛猫につけようか迷っている」という方もいるはず。今回はマイクロチップの製造販売業者でもある共立製薬株式会社の須藤さんと西川さんに、基本的なことから気になる安全性までうかがいました。

Q そもそもマイクロチップとは？

A 動物の体内に入れる小さなカプセル型の電子標識器具です。世界で唯一の15桁のID番号が記録され、飼い主さんと犬猫の情報を紐づけることで個体識別(身元証明)に役立ちます。



最新のマイクロチップのサイズは各社概ね長さ10mm前後

登録できる情報



飼い主の情報

- ・名前・住所・電話番号
- ・メールアドレス など



動物の情報

- ・名前・動物種・品種・毛色
- ・生年月日・性別 など

Q 体内に入れても安全なの？

A マイクロチップは生体適合性のガラス製もしくはポリマー(樹脂)性で覆われています。どちらも体内に入れても拒否反応や副反応が出にくい安全性の高い素材です。ポリマー性は破損しにくいのが特徴ですが、交通事故のような強い衝撃を受けない限りガラス製も割れる心配はないでしょう。動物の皮膚はたるみがあるので、マイクロチップが多少移動しても健康に問題ありません。

Q 体内に装着する方法は？

A マイクロチップは改良を重ねて小型化しているので、体内に入れるときに使用する注射器の針はワクチン用より少し太い程度。以前に比べて痛みをかなり抑えられるようになりました。心配な方はかかりつけの動物病院に相談し、不妊・去勢手術や歯石除去などの全身麻酔の手術を行うときにつける方法もあります。



肩甲骨の間に入れることが多い。
 装着できるのは獣医師と愛玩動物看護師



犬となかよくなるろう!!

犬ともっとなかよくなる方法を、どうぶつのお医者さんに教えてもらいました。この4つのお約束を覚えてやさしいキモチでふれあいましょう。

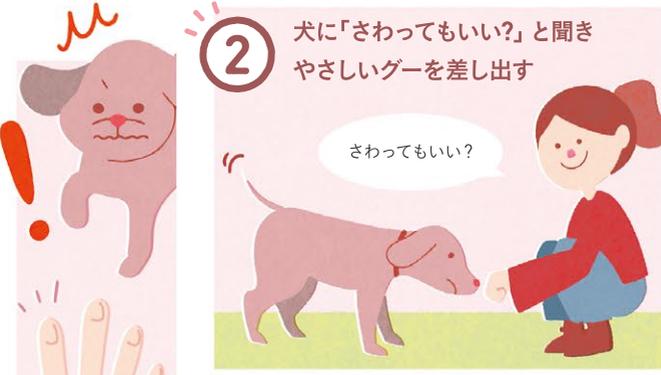


①

まずは、飼い主さんにごあいさつ「わんちゃんにさわっていいですか?」と聞こう



犬の体調や性格によって、さわらない方がいいこともあります。また、子どもが苦手な犬もいます。決してガッカリしないで「わかりました」と言ってさよならしましょう。



②

犬に「さわってもいい?」と聞きやさしいグーを差し出す



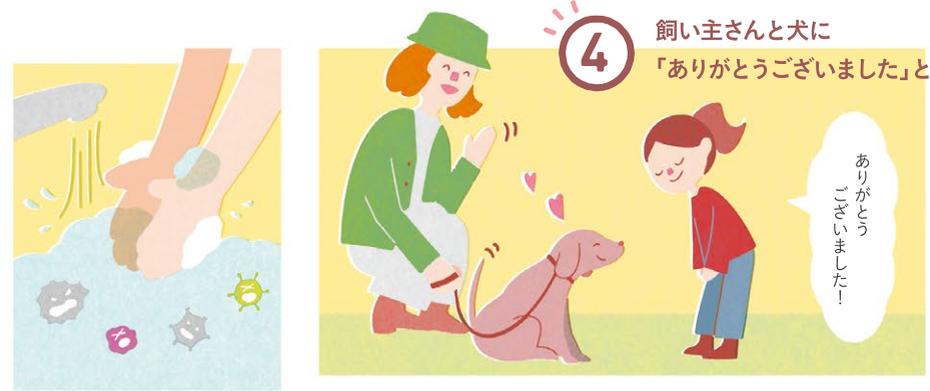
飼い主さんからさわってもいいと言われたら、犬にもごあいさつしましょう。鼻の下にやさしいグーの手をさし出すと犬からおいをかいでくれます。パーの手よりも安全です。そのとき犬が横をむいたり、かくれようとしたら、追いかけてあげましょう。



③

下のほうからやさしく首、むね、背中をなでよう

知らない人の大きな手が上からきたら犬も人と同じように怖いので、最初は頭からなでないようにしましょう。足や耳、しっぽなどの先っぽをさわられるのはイヤな犬も多いので気をつけて。



④

飼い主さんと犬に「ありがとうございました」と言う

犬を触った手で目や鼻をこすらないで。バイバイの後はしっかりと手を洗ってね。どんなにきれいに見えても、目に見えないバイキンやかゆみを起こすものが付いていることがあります。

監修：吉田尚子(よしだなおこ) 先生

- 獣医師・公益社団法人日本動物病院協会(JAHA) 理事
- NPO法人CANBE 子どものための動物と自然の絆 教育研究会 理事
- NPO法人子ども支援センターつなぐ 理事
- 家庭動物診療施設 獣徳会 勤務



犬となかよくなるろう



オンラインショップだけでなく
実店舗もあるから安心

家族の一員だから、人と同じように供養したい。でも、あの子らしく、可愛くしたい。ディアペットにはパステルカラーの仏具や、クリスタルのお位牌など、動物専用のメモリアルグッズがたくさんあります。

そのほかにもお写真や名前を入れて作る世界でひとつだけのオーダーメイドアイテムも。たとえば写真から作るクッションなら、ぎゅっと抱きしめることもできます。オンラインショップなら2000点以上のメモリアルグッズをご用意。店舗ならスタッフと直接相談もできるので安心です。

「供養」と聞くと難しく感じるかもしれませんが、お気に入りの写真を飾って、毎日声をかけるのも立派な供養。自分だけの、あの子だけの供養のかたちが見つかるといいですね。

ペットを偲ぶための
メモリアルグッズ

DEARPET STORY

ペットに愛情を伝える供養

ペットメモリアル専門店「ディアペット」では、飼い主さんの愛情をペットに伝えるさまざまな供養を提案しています。“命”に無償の愛を注ぐ人が増えれば世の中もきっと幸せに。願いを込めて心に寄り添うディアペットの弔いについてお伝えします。

供養祭やイベント 遺品の寄贈で弔う

ディアペット東京店ではペトリスを癒す様々なイベントを開催しています。「動物のお坊さん」として有名な横田住職による合同供養祭はオンラインでも参加可能。「虹の橋みんなの供養祭」「ペット位牌の開眼供養」「お盆供養祭」などがあり、命日や年忌、気持ちが落ち着いたタイミングで多くの飼い主さんが参加しています。

また、うちの子そっくりに作れる羊毛フェルト制作や、ペトリスを体験した方のお話会なども行われています。各イベントはディアペットの公式サイトで開催予定日を公開しているので、希望者は事前に申し込みましょう。

供養を行うことで多くの飼い主さんは心の整理がつかますが、最後まで悩むのがペットの遺品です。いつかは片付けなければいけないと思っても処分するのはつらいもの。遺品を次の子へ渡す「いのちのバトンプロジェクト」へ送るのもひとつの方法です。ディアペットが飼い主さんから遺品を受け取り、支援物資として保護団体に送る活動です。遺品で助かる命があると思えば安心して手放せるのではないのでしょうか。

さまざまな供養によって、飼い主さんと大切なペットの幸せを考えるディアペット。いつか訪れるお別れの時、そっと寄り添ってくれます。



毎月開催されている
「虹の橋みんなの供養祭」。



店舗には多くの供養品や
メモリアルグッズが並ぶ



オリジナル仏具を製作する
イベントも開催



ペットを供養することが
残された家族の幸せにつながる

ペットを見送った喪失感でペトリロスに陥る方は少なくありません。なかには悲しみや後悔に苛まれて、思い出にさえ目を向けられなくなってしまう方も。きちんとお別れをし、死と向き合うこともまたペトリロスを癒すためには大切なこと。そのひとつの方法がペット供養です。

ディアペットは人も動物も同じ“命”と考え、「あの子のために何かしてあげたい」という飼い主さんの愛情を伝えるために、さまざまな供養の方法やメモリアルグッズを提案しています。

“命”に無償の愛をそそぐ人が増えれば、世の中にもやさしい気持ちが広がります。ペットを供養することは、人も動物もみんなが幸せになることに繋がるかもしれません。

人も動物も同じ“命”
心を込めた弔いを

「一緒に居たい」を 叶える手元供養

最近では、ペットを火葬したあと遺骨を自宅に置く「手元供養」を選ぶ飼い主さんが多くなっています。骨壺を置く場所として仏壇を用意したり、骨壺カバーを可愛いものにしたたり、あの子らしい供養ができるようにしたいものです。

お骨をパウダー加工すれば(粉骨)、容積が小さくなりコンパクトに。大きなわんちゃんや多頭飼いでも自宅に置きやすくなります。

遺骨を納めて持ち歩けるカプセルや、遺骨が入っているとはわからないデザインのジュエリーなどもあるので、いつでもあの子を身近に感じながら供養することもできます。遺骨になっても可愛いあの子。姿形は見えなくても、一緒にお出かけて、新たな思い出を作ることもできるなんて素敵だと思います。



身近に供養できればいつでも大切な
「あの子」を思い出せる

DEARPET

ペットメモリアル専門店
DEARPET (ディアペット)

2008年創業。累計15万人以上のペット供養をお手伝い。動物葬祭ディレクター30名以上在籍の安心のペットメモリアル専門店。虹の橋のもとにいる動物たちとご家族のためのお店です。

- オンラインショップ 本店、楽天市場、Yahoo!ショッピング、Amazon
- 全国5店舗 東京・大阪・名古屋・横浜・埼玉
- カスタマーサポートセンター 048-661-2100
- 営業時間 10時～17時(祝定休)

「どくしょ犬って知ってる？」を始動しました！



2022年11月10日、代官山葛屋書店協力のもと、公益社団法人日本動物病院協会と共に、読書犬の普及を目的とした新企画「どくしょ犬って知ってる？」の発表会およびトークショーを開催いたしました。

第一部では、代表理事滝川クリステルによる事業説明および公益社団法人日本動物病院協会理事吉田尚子先生による読書犬の効果説明を行った後、実際に子どもたちそして読書犬と一緒に、犬とのふれあい方教室、そして読書犬デモンストレーションを行いました。子どもたちを代表して、クリステリアーノくんが、読

【読書犬とは】子どもたちが人の評価を受けない環境で読み聞かせを行うために、聞き手となる犬のこと。日本ではセラピー犬の中でも読書犬に適正のある犬とハンドラー（飼い主さん）がペアになって活動している。

書犬サニーちゃんに読み聞かせを行い、吉田先生による、生解説が行われました。デモンストレーション中、2人は時折目を合わせるなど、お互いを信頼している様子が伺えました。クリステリアーノくんの優しい、読み聞かせにリラックスしたのか、最後にはサニーちゃんは横にごろんと寝転ぶ姿勢で読み聞かせの声にじっと耳を傾けていました。

第二部では、滝川クリステルが、モデルのSHIHOSANさん、代官山葛屋書店KIDSコンシェルジュ山脇陽子さんと、読書が子どもに与える影響についてトークショーを行いました。子育

ての悩み、そして読書の大切さについて議論しました。朝が戦場、抱っこが大変、子どもの宿題のお手伝い等、ママトークは大いに盛り上がりました。読書離れが進んでいると言われる今、山脇さんが厳選した絵本3冊の紹介も、SHIHOSANさんも滝川も、真剣に聞き入っていました。

【今後の活動について】

2023年4月より、正式に活動を開始いたします。当面は都内での活動を予定していますが、全国に活動を広げていく予定です。



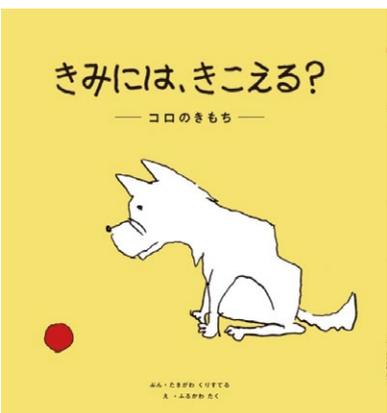
詳細はこちらから

プロジェクトSOS

Project SOSの第一弾として始まったAnimal SOSにおける啓発活動の中で生まれた1冊の絵本「きみには、きこえる？」は、一頭の犬「コロ」の物語です。代表理事の滝川クリステルが初めて執筆にチャレンジし、クラウドファンディング、そして絵本制作に関わった「言葉を持たざる動物たちが置かれている現状を変えたい」すべての皆様の想いが詰まった一冊です。学校等への無料配布を行っている傍らで、一般販売も行う予定です。

動物虐待を始めとした虐待や暴力のない世界の実現を目指し、2021年6月、当財団は「Project SOS」を始動しました。

Animal SOSの「う」の活動として、Yahoo! ネット募金を通じて支援の呼びかけを行っています。現場で動物虐待に対応する獣医師の育成支援と、虐待対応を行う動物虐待の専門家として活動している日本獣医生命科学大学シエルトメディスン研究分野に、2021年6月から2022年5月までにご寄付いただいた全額1,027,724円をお渡ししました。動物虐待事犯の検挙件数は、動物福祉に対する意識の高まりもあり年々増加傾向にありますが、それでもその数は氷山の一角に過ぎないと言われています。動物虐待を見逃さない、未然に防ぐ、そして無くすためには、行政獣医師の育成・活躍が鍵となります。ぜひ、更なるご支援をお願い致します。



絵本の購入はこちらから

絵本「きみには、きこえる？」
原案・文・発行者：滝川クリステル / 絵：古川タク



Save One's Smile
虐待のない世界



寄付はこちらから

動物虐待罪ゼロをめざして
～ Animal SOSプロジェクト～



Panel for Life ～命のパネル～

等身大の保護犬猫パネルを様々な場所に設置することで、より多くの方々に保護犬・保護猫の存在を周知し、新しい家族を迎え入れていただく機会を提案しています。犬猫パネルにはQRコードがついており、スマートフォンで読み取ると、専用HPにリンクし、保護犬猫の情報が閲覧できる仕組みとなっています。



犬猫のパネルを設置して応援

原則、応援していただく皆様にパネルの制作費をご負担いただく形で、新品のパネルをお渡ししております。パネルの制作費は1体5,000円～7,000円程となっており、別途送料を頂戴しております。



WELCOME PET CAMPAIGN

「保護犬・保護猫」を家族として引き取って暮らす方を増やすために、公益社団法人日本動物病院協会様に協力いただき、2015年5月から啓発冊子を配布している活動です。まずは、新しい家族を待っている「保護犬・保護猫」の存在を多くの人に知ってもらうこと、そして犬や猫を家族に迎え入れる際には「保護犬・保護猫」という選択肢が当たり前になる社会を目指して、冊子を作成しています。



現在も冊子の配布に協力いただける方を募集しておりますので、店舗や各種施設、イベントなどで冊子の配布にご協力くださる方は事務局までご一報ください。(冊子代、送料などのご負担は一切ございません)

mail

冊子の配布、パネルの設置にご協力いただける方はメールにてご連絡ください。

info@christelfoundation.org



保護犬猫支援基金

- ① 保護犬・保護猫の保護に尽力される方々の費用負担を軽減したい
- ② 保護犬・保護猫が必要な医療をうけられることにより、彼らのアニマルウェルフェアの向上や譲渡促進につなげたいとの思いで協力動物病院で医療行為を受けた**保護犬・保護猫の医療費から1頭につき5,000円の補助**を行う「保護犬猫支援基金」を2021年7月に設立し、運営開始から2022年12月末までに、**433.5万円(867頭分)**を支出することができました。

保護犬猫支援基金は、当基金の趣旨にご賛同頂いた**スポンサー様、協力動物病院様、そして飼い主のいない犬猫の保護に尽力されている皆様**の存在があって初めて成り立つ仕組みです。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

協力動物病院

- あさか台動物病院(埼玉県朝霞市)
- いちかわ動物病院(千葉県松戸市)
- 家庭動物診療施設 獣徳会(愛知県愛知郡)
- さくら動物病院(長野県小諸市)
- JAMCシェルタークリニック(東京都渋谷区)
- 大師前どうぶつ病院(東京都足立区)
- なないろ動物病院(東京都文京区)
- ペットスペース&クリニックまりも(東京都世田谷区)
- らむ動物病院(埼玉県蓮田市)

(2022年12月末現在)



フォスターアカデミー

犬猫の殺処分をなくすための保護活動において、絶対的に不足しているのがフォスターです。

フォスターとは保護された犬や猫などの動物を自宅で一時的に預かるボランティアのことを指します。

保護犬・保護猫が新しい家族に出会うまでの間、心身のケアを行いながら一緒に過ごす大切な役割を担います。またフォスターのサポートや自身の得意分野を活かして保護犬・保護猫のために活動する動物ボランティアも必要とされています。

ご自身のライフスタイルに合った動物ボランティアをはじめませんか？



詳細や受講受付中の講座については、「**フォスターアカデミー**」とご検索いただき、ぜひご覧ください！

(<https://www.fosternet.org/>)

YouTubeでも各種講座を公開しております



「**フォスターアカデミー**」と検索、もしくはこちらのQRコードからアクセスください。

法人の皆さま

プロジェクトスポンサーになる

Project Zero、Project Red、Project SOSなど特定のプロジェクトをご支援いただくスポンサー制度です。ご希望に応じて、社内セミナーなども実施いたします。

※スポンサーになっていただくには一定の審査基準や確認事項がございます。



保護犬猫支援基金に寄付をする

保護犬・保護猫が必要な治療を受けやすい仕組みを構築するために2021年7月に保護犬猫支援基金を設立しました。協力動物病院で医療を受けた保護犬・保護猫の医療費の一部(1頭につき5,000円)を支援しています。動物保護団体、個人ボランティアさんの金銭的負担の軽減を行うことで、更なる保護犬・保護猫のアニマルウェルフェア向上を実現するために、保護犬猫支援基金への寄付者を募集しております。



寄付をする/法人サポーターになる (単回および継続でのご寄付)

スポットでご支援いただく単回寄付、および一口20万円から年間を通してご支援いただける法人サポーターを通じて、当財団をご支援いただける法人様を募集しております。

法人パートナーになる

売上/社会貢献活動に応じた継続的なご寄付(寄付つき商品等)

貴社の商品の売上の一部や一定金額に応じてご寄付いただく寄付つき商品の販売、社会貢献活動に応じて集まった募金などを通じて、ご支援いただくことができます。

お問い合わせ

一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンプル
E-mail info@christelfoundation.org

クリステル財団 お問い合わせ

検索

個人の皆さま

ご寄付による支援

(当財団HP「財団への支援/SUPPORT US」からアクセスしてください)

◆ 銀行振込	お振込先 三菱UFJ銀行 成城学園前支店(647) 普通 0046723	名義：一般財団法人 クリステルヴィアンサンプル ※クリステル財団でも可
◆ クレジットカード (VISA/Masterのみ)	継続寄付OK	「クリステル財団 寄付」 で財団HPにアクセスし、 お好きな方法をお選びください。
◆ Amazon pay	継続寄付OK	
◆ 楽天ペイ	継続寄付OK 楽天ポイント 利用可	「クリステル財団 ヤフー」 でヤフー募金 サイトにアクセス!
◆ Yahoo!ネット基金	継続寄付OK ヤフーポイント 利用可	

買って応援する - 当財団HPのチャリティグッズからアクセスしてください -

1 アクセサリー

Everchris for animals エバークリスフォーアニマルズ

制作経費を除いた売上で当財団の活動や事務局運営のために活用させていただきます。商品には、動物たちと共に生きていくために必要なメッセージが刻印されています。



ボルネオプロジェクト R ethicalとのコラボレーションジュエリー

エシカルジュエリーブランドR ethicalとマレーシアのボルネオ島の生態系を守るためコラボレーションしました。制作経費を除いた売上のすべてを認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパンに寄付し、現地での保全活動資金に充てています。



2 その他の商品

petit rose

花やの六さんの商品です。一つご購入していただくごとに、250円が当財団に寄付されます。



その他

読まなくなった本をお売りいただくことで、買取金額が当財団に寄付される古本チャリティ募金や、オリジナルLINEスタンプもご用意しています。

活動を広める

SNSやウェブサイトにて当財団の活動情報を発信しています。シェアやリポスト等を通じてぜひ当財団の活動を広めてください!!



Instagram



Facebook



Twitter